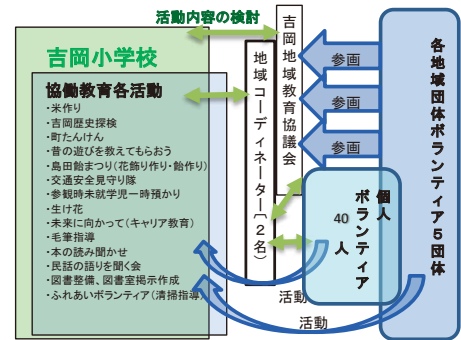


人が繋がり継続して子供を見守り育む地域 —地域の歴史とともに—

宮城県大和町	● 活動名	● 関係する学校名
	吉岡地域教育協議会	大和町立吉岡小学校

開始年度	平成 21 年度	学級数	25 学級	児童・生徒数	740 人
活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援活動 <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の安全確保 <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 0 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 2 人	連携団体・企業等	島田鮎まつり実行委員会 ほか
ボランティアの数	登録人数 40 人	属性	地域住民		
参考 URL	吉岡小学校 HP http://www.taiwa-tk.ed.jp/yoshioka-e/				

● 体制図



● 連絡先 大和町教育委員会生涯学習課 ☎ 022-345-7508

● 活動の概要・経緯
平成 21 年度に「吉岡地域教育協議会」として事業をスタートさせ、今年度で 9 年目を迎える。子供の安全確保や学習等の支援に、地域の人材を取り入れ、歴史や環境など地域の特色を生かした活動を展開している。吉岡は、「国恩記」が伝わる地域で、地域全体が未来を担う子供を大切に思うところであり、多種多様な活動が行われている。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】
子供たちの登下校時には、「見守り隊」のほか住民が道路に出て子供たちの安全を見守っている。火曜日には図書ボランティアによる「読み聞かせ」、金曜日には「ふれあいボランティア」として吉岡婦人会と子供が共にトイレ清掃を行っている。
更に、学習参観時には「未就学児一時預かり」が行われ、親が参観に集中できるように配慮されている。また、「米作り」「町たんけん」「島田鮎まつり」などの地域学習にも地域ボランティアが積極的に関わっている。
学校では「はやね・はやおき・あさごはん」運動や、「午睡タイム」の導入も行われている。学校の取組を通して、家庭と地域に子供を育む為に必要な様々な情報が提供されている。併せて、家庭教育の重要性の啓発、情報提供がされている。

【実施にあたっての工夫】
地域教育協議会に各団体長が参加し、活動内容の調整が図られている。また、学校だよりやホームページを利用した活動報告が行われている。子供たちから、地域ボランティアへの感謝の気持ちが「御礼状」として渡されたり「標語」にして掲示されたりした。
・協働教育ニュース 全世帯に配付 年 2 回

● 事業を実施しての効果・成果

児童と保護者が地域を知るきっかけになっている。各団体の協力により様々な活動が展開され定着して行われている。震災の影響や企業の進出により、他県や他市町からの移住者も多くなっているが、従来の住民にとっては、改めて地域を見直す機会となるとともに、新規住民にとっては地域の住民と関わるきっかけともなっている。児童と地域の人々が顔見知りになることにより、町中であいさつが交わられるようになった。
児童にとっては、たくさんの経験や家族以外の大人から大切にされて育つという財産を得ている。
3.11 震災時は、翌日の卒業式に備え 5.6 年生は清掃をしており、その他の学年は下校途中であったが、地域の方々は外に出て子供たちが安全に帰宅できるよう声掛けや避難をさせていたことが、アンケートから分かった。

● その他

【学校支援活動】
企業、NPO等との連携：「町たんけん」吉岡飲食店組合、蜂谷新聞店等地域の商店
「島田鮎まつり」島田鮎まつり実行委員会
学習支援の詳細：児童に係る学習指導補助、メンタル面のサポート、特別な配慮を要する児童生徒の学習支援。
ICT（情報通信技術）活動内容の詳細：デジタル教科書の活用。



参観時一時託児支援



島田鮎まつり

ポイント

地域の資源の活用はもとより、家庭教育の啓発活動や授業参観時の託児など、多彩かつきめ細やかな活動が魅力的ですね。